



先週
の
ドル
円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週
の
相場
概況

20日

ドル円はアジア時間に110.32円まで上昇する場面があったものの、その後は米中貿易摩擦への懸念からリスク回避の売りが優勢に。欧州時間には一時109.81円まで売りに押された。

21日

米国が中国通信機器大手、華為技術(ファーウェイ)に対する制裁措置の一部に猶予措置を認めたことで、米中貿易摩擦の激化懸念が緩和。ドル円は株高なども背景に110.67円と7日以来の高値まで買い戻された。

22日

トランプ米政権が中国の監視カメラ企業に対する米製品の禁輸措置を検討していると報じられたことで、再びリスク回避の動きが優勢となった。株安や米長期金利の低下も重しとなり、ドル円は一時110.24円まで売りに押された。

23日

ドル円は株価の下落や米長期金利の低下に伴って海外時間に下落した。この日発表された米PMI速報値や米新築住宅販売件数が予想より弱い結果となったことも重しとなり、一時109.46円まで下押しした。

24日

ドル円はしばらく109円台半ばでのみ合いとなっていたが、引けにかけて109.27円まで下押し。弱い米耐久財受注が材料視されたほか、英米の3連休を控えた週末とあってポジション調整目的の売りも出やすかった。

総括

先週のドル円は上値の重い動き。週前半は米中貿易摩擦絡みの報道に振られる展開に。中国外務省がファーウェイとの取引を中止した企業との取引停止という報復措置を警告したことで、20日には109.81円まで反落したものの、米商務省がファーウェイとの取引禁止の制裁措置を90日間猶予すると発表し、21日には110.67円まで反発した。もっとも、翌22日には米政権が中国の監視カメラ企業に対する米製品の禁輸措置を検討していると報じられたことで、再びリスク回避の動きが優勢に。週末にかけても弱い米経済指標の発表が相次いだことで売りが強まり、24日には109.27円まで値を下げた。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
21日	08:00	火	USD	FRB議長講演	*	*	*	*	*	*
21日	23:00	火	USD	中古住宅販売件数	年率換算	4月	521万件		535万件	519万件
22日	17:30	水	GBP	CPI	前月比	4月	0.2%		0.7%	0.6%
22日	27:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*	*
23日	23:00	木	USD	新築住宅販売件数	年率換算	4月	69.2万件	72.3万件	67.5万件	67.3万件
23日	未定	木	ZAR	SARB政策金利	*	*	6.75%		6.75%	6.75%
24日	21:30	金	USD	耐久財受注	前月比	4月	2.7%	1.7%	-2.0%	-2.1%

一言コメント・・・5月独製造業PMI速報値が50割れとなったほか、米国でもPMIが低調な数字となったことを受けて欧米株価が軟調に推移。為替市場でもリスク・オフの動きが広がりました。週前半はドル買いが進みましたが、後半はドル売りが目立ちました。

先週の注目された要人発言

20日05:58 トランプ米大統領「もしイランが戦いを望むなら、イランの正式な終焉となるだろう」
 20日19:15 中国外務省「華為技術(ファーウェイ)との取引を停止した企業とは、取引を控える可能性」
 20日21:46 サルビーニ伊副首相「欧州連合(EU)の財政規律は再考する必要がある」
 21日08:05 パウエルFRB議長「企業債務の伸びは鈍化」「景気が悪化しても企業債務には大幅な悪影響はない」「景気が悪化すれば個人は逼迫に直面する可能性」「通商問題が金融政策の道筋に影響するか判断するには時期尚早」「準備通貨としてのドルに脅威はない」
 21日10:36 RBA議事要旨「労働市場のさらなる改善が見られなければ、利下げが適切」「短期的に政策金利を変更する強い根拠はない」
 21日12:12 ロウRBA総裁「6月の理事会で利下げを検討するだろう」
 21日23:59 メイ英首相「2回目の国民投票を英議会に提案」
 23日03:00 FOMC議事要旨「多くのメンバーはインフレの低下は一時的との認識」「当面の間、忍耐強い政策が適切と判断」
 23日22:16 クガニャゴSARB総裁「2名の委員が25bpの利下げを主張」
 24日18:43 メイ英首相「6月7日に辞任する」

一言コメント・・・米中両国の要人発言を受けて米中貿易摩擦が激化・長期化すると懸念が高まりましたが、週末にはトランプ大統領の発言を受けて警戒感がやや後退しています。また、メイ英首相は辞意を表明。ポンドが神経質な動きとなりました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
28日	23:00	火	USD	消費者信頼感指数	*	5月	129.2		130.0
29日	23:00	水	CAD	BOC政策金利	*	*	1.75%		1.75%
30日	21:30	木	USD	GDP改定値	前期比年率	1-3月期	3.2%		3.1%
30日	21:30	木	USD	GDP個人消費改定値	前期比	1-3月期	1.2%		1.2%
30日	23:00	木	USD	住宅販売保留指数	前月比	4月	3.8%		0.5%
31日	21:30	金	CAD	GDP	前期比年率	1-3月期	0.4%		0.7%
31日	21:30	金	USD	PCEコアデフレーター	前月比	4月	0.0%		0.2%

今週の注目は・・・米GDP改定値

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - 越後屋の小言

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。